

受け継がれる歴史



伊豆を繋ぐ伊豆箱根鉄道

静岡市のグランシップにて行われる「トレインフェスタ2018」には県内の鉄道会社がそろい、三島市に本社を構える伊豆箱根鐵道も参加する。そこで、伊豆箱根鐵道株式会社の鉄道部運輸課主任の森田聰さんにフェス

タの見どころを聞いた。森田さんは「電車の模型やプラレールの展示が行われており、伊豆箱根鐵道ではオリジナルグッズや昔の行き先掲示板など、鉄

～SIDE MISHIMA～

街色と君

タグ）が作る駿豆線沿線新聞「街色と君」第一号！
今月号は五月一九（土）・二〇日（日）に静岡市グランシップで行われる「トレインフェスタ2018」について話を聞いた。更に、自然あふれる三島市の魅力あるスポットや、歴史ある名所を特集した。



三島に流れる源兵衛川

ウォーキングなどは、県内外問わず、多くの人が訪れる観光スポットだ。
歴史に富む

沿線の宿場町
三島

三島市は豊かな自然があり、古くから歴史がある。三島駅の南口を出てすぐに位置する楽寿園や、街中を流れる源兵衛川は自然を感じることができる。また、歴史的名所である三嶋大社や、日本最長四〇〇メートルの人道吊り橋である三島スカイ

年を迎える。そこで五月二六日（土）に本社構内で一二〇周年記念イベントを行う。地元の方に支えられて今まで続けてくることができたので、感謝を全力で伝えられるイベントに参加を行つてきた。そこで今後どのように支えられていくかを画しているのかを聞くと「今年は伊豆箱根鐵道の前身である豆相鐵道の開業から一一〇周年を迎える。そこで北伊豆のジオパーク認定された。そこで北伊豆のジオサイトに迫る。ジオパークとは、地球科学的な価値を持つ遺産を保全、有効活用していく活動のこと。ジオサイトは、それに付属しているスポットのことである。

世界ジオパーク認定！
～北伊豆のジオサイトに迫る～



三島市に残る溶岩と樂寿園の様子

孝行の心を学ぶ
円明寺



三島市にある円明寺には「孝行犬」の話が語り継がれている。この話は江戸時代に円明寺で飼われていた五匹の子犬が、病気になってしまった母犬のために必死になつて町人から餌をもらつたといふ話だ。

三島市にいる川村歓亮さんは「人と犬の違いはあつても、親を思う気持ちは変わらない。年上へ

も孝行犬を供養する行事として、毎年四月一八日に供養祭を行つている。更に、この話を絵本や漫画にして近隣の幼稚園や保育園に配り、大勢の子どもたちに読んでもらつていて



孝行犬の石像

三島市には春には花見、夏には三嶋大祭り、秋には七五三、正月には初詣など季節に合わせて様々なイベントが行われており、遠方から多くの人が訪れていた。また、宝物館の裏手では鹿も飼育されており、餌やりができる。更に、五十三代目住職



ジオサイトの発信のために、長泉州で音楽サークルのリーダーとして活動し、ジオを発信するための曲ジオロビックスを作成した。ジオロビックスを制作した寺嶋由佳さんは「ジオは伊豆にも素晴らしい」と語った。半島南部ばかりが有名なため、北伊豆にも素晴らしいと語った。幼稚園や老人ホームなどでジオロビックスを歌い、ジオの発信に尽力している。

ジオを身近に

広めるために